

箱崎商店連合会

どんな商店街？

創建1100年を迎える筥崎宮に隣接する箱崎商店街は、地下鉄、JR、バスと、交通アクセスのよい立地です。一方、車両の交通が多く、歩きにくいことが課題となっているため、通過車両の速度測定など様々な実証実験を実施しながら、歩きやすい商店街を模索しています。加盟店や人口が増加している中、新旧住民のコミュニケーションも課題の一つであり、古き良き箱崎の魅力を伝えていくことも目指しています。



はこざきどんだん倶楽部

新たな住民と個店をつなぎ

1. 商店街の課題

古くなった建物が建て替わり、新たなマンションが建設され、新たな住民が入ってきてはいますが、多くはチェーン店などに流れてしまい、**商店街の個店を利用する新たな住民が少なくなっています。**



2. 「はこざきどんだん倶楽部」を開催

参加者が商店街内の飲食店などを回って楽しむ「はしご酒」イベントを開催しました。参加者が、3,000円で3枚綴りのチケットを購入し、イベント期間中に1店舗1枚ずつ参加店舗を回り、お店のおすすめ商品やドリンクなどを楽しんでもらうイベントです。商店街の35店舗が参加しました。

また、ポスターやパンフレットのデザインを一新し、若い人や地域外の方々にも興味を持ってもらうような工夫をしました。



3. 効果があったと思われること

お年寄りから子ども連れの若い方まで楽しんでもらい、お店とつながり、地域のことを知ってもらう機会になりました。

- チケット販売数…前回比24%増
- 参加店舗へのアンケート…参加店満足度94.1%

4. 来街者の声・会員さんの声

夜の飲食店だけでなく、昼のカフェや、パン屋などのテイクアウトのお店や、飲食店以外のスポーツジムやエステサロンなども参加店舗としたため、**幅広い年齢層が参加しやすい**との声がありました。



ビールで乾杯!!

5. 反省点や今後の取り組み

今回はコロナ禍を経て、4年ぶりの開催でしたが、その間にお店の入れ替わりがあり、実行委員会も新しいお店を中心に企画・運営を行いました。これまでのデータをクラウド化して、新たなメンバーが入っても共有できるようにし、今後も継続しやすいように整えました。今後の展望は、さらに色々なお店に参加してもらって、偏りなくお店に行ってもらえるような仕組みを検討したいと思います。